

2016-17年度ライオン誌日本語版委員会 第4回会議 報告書

日 時：2016年11月2日(水) 13:30～16:30

場 所：一般社団法人 日本ライオンズ 事務所

出席者：国際理事	佐藤 宜之 (大分ライオンズ [㊤])
国際理事	中村 泰久 (埼玉県・大宮北ライオンズ [㊤])
委員長	石井 博之 (334複合地区／三重県・津中央ライオンズ [㊤])
編集長	佐藤 義則 (332複合地区／宮城県・蔵王ライオンズ [㊤])
委員	久津間康允 (330複合地区／神奈川県・小田原白梅ライオンズ [㊤])
委員	渡邊 信也 (333複合地区／新潟県・亀田ライオンズ [㊤])
委員	中村 房雄 (335複合地区／大阪府・泉大津ライオンズ [㊤])
委員	矢野 敏明 (336複合地区／島根県・松江葵ライオンズ [㊤])
委員	小柴 登司 (337複合地区／沖縄県・浦添ウエスト ライオンズ [㊤])
ITアドバイザー	荘 英 隆 (東京恵比寿ライオンズ [㊤])
事務所長	近藤 正彦 (330複合地区／東京八王子陵東ライオンズ [㊤])
欠席者：国際理事	安井 克之 (北海道・旭川東ライオンズ [㊤])
委員	佐々木忠康 (331複合地区／北海道・小樽ライオンズ [㊤])
ITアドバイザー	辰巳 博昭 (兵庫県・神戸須磨ライオンズ [㊤])



石井委員長の開会あいさつに続き、佐藤、中村両国際理事からあいさつとナッシュビル国際理事会報告があり、佐藤国際理事からは特に国際大会における投票日程の変更、LCIフォーワードに関わる戦略プランについて、また中村理事からはガイディング・ライオンの資格や移行地区の指定期間変更、地区ガバナー・エレクト・セミナーの2月開催などについて説明があった。その後、石井委員長、佐藤編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. 公式版ライオン誌編集者会議

10月25～26日にドイツ・ベルリンで開催された公式版編集者会議について、出席した小柴委員から報告があった。会議はほぼ公式版ライオン誌のデジタル化についての話題に終始し、冒頭デジタル化の目的として、若い世代にライオンズを知ってもらうためにはデジタル化が不可欠であることが説明された。本部版は既にデジタル版を公開しているが、これを各国共通のプラットフォームとして適用出来るよう計画しており、基本的には各公式版ライオン誌はこれまでと同じように印刷版を作成し、その入稿データをPDFとして本部のデジタル版システムにアップロードし、幾つかの作業を行えば、それぞれのデジタル版が出来上がるようになるとの説明があった。ただ、このプランはこれまで本部が提示してきたものとは異なるため、既に独自にデジタル版の準備を進めている公式版もあり、全ての公式版がこれを採用するかどうかは分からないが、基本のデジタル版として採用し、そこから各公式版のオリジナ

ル・サイトやSNSなどとリンクをして拡張性を持たせることが推奨されるようだ。また、これまで一切連絡がなかったが、同一プラットフォームによる各国のデジタル版公開スケジュールを本部が独自に策定しており、それによると日本は韓国と共に2017年2月のスタートとなっている。これは現在編集しているものをPDFにしてアップするため、それまでの編集作業等について特に変更はないが、既にライオン誌のデジタル化を想定して過去のバックナンバーを全てデジタル・アーカイブにし、記事の検索システムも公開していることから、これらのサイトの構築とリンクを整える必要がある。また今後、日本語版委員会としては、公式版の補助金が会員1人当たり年6ドルから年4ドルに減額される2018年1月以降、年4回以上と指定されている発行回数を何回にするか、また印刷版とデジタル版が同一データとなるためコンテンツや体裁をどうするかなどについて、意見をまとめていく必要があることが報告された。

2. ライオン誌日本語版の運営（別紙-月次決算報告）

9月度の収支計算書を基に会計担当者から説明があった。今月はデジタル・アーカイブに関する資料整備費594万円の支払いがあったことから月次で約480万円の赤字となり、累計では644,949円の収支差額が出ている。

本日、ライオン誌名義の最後の口座である、みずほ銀行普通預金のライオン誌日本語版の口座から残高全額を336複合地区へ送金し、口座を解約したことが担当者から報告された。

3. 2016年11月号(10月20日見本／95,600部発行)出来

主要記事を紹介し、委員から意見を求めた。今月号の特集は「フードバンク」。「国際理事だより」は中村泰久国際理事、「編集室」は久津間康允委員の担当だった。

4. 2016年12月号記事内容の確認

当日配布された12月号校正を基に、記事の内容を検討した。特集「高齢者支援」、「国際理事だより：安井克之国際理事」、「編集室：小柴登司委員」。10月号で開催告知に協力したFWT全日本女性フォーラムを取材し、この号に掲載している。また、LCIF災害援助金が交付された台風10号被災地331-B地区と332-B地区の活動を紹介している。

5. 2017年1月号台割(案)と主要記事予定

2017年1月号以降の台割案と主要記事予定が提出された。

1月号特集は「国際協会100周年」で、本部版の企画に合わせた特集とするが、小柴委員からドイツの編集者会議でプレゼンされた本部編集の100周年特集号は写真を中心とした企画であったとの報告があり、内容については独自に加味することも考慮する。1月号のその他の記事は「国際理事だより：佐藤宜之国際理事」、「編集室：矢野敏明委員」。この号で11月9～12日の香港フォーラムを取材し記事にすると共に、その後に行われるナレシュ・アガワル国際第1副会長の公式訪問を取材し紹介する。また、10月29日に開催された330-A地区の薬物乱用防止パレードについて、同地区から写真と原稿を取り寄せ、この号に掲載する。

2月号特集は「アラート」で、後方支援などライオンズとして取り組めるアラート活動を中心に上げると共に、各地区で作成している災害対策マニュアルや、LCIFの災害準備交付金の内容なども材料の一つとして検討する。「国際理事だより：中村泰久国際理事」、「編集室：中村房雄委員」。この号で、国際平和ポスター・コンテストの各複合地区最優秀賞の紹介と、シカゴ国際大会代議員資格証明用書式（指定記事）を掲載する。

3月号特集は「糖尿病の実態」で、渡邊委員の協力を得て専門家による基調原稿を掲載すると共に、海外の事例も含めた糖尿病関連アクティビティを紹介する。「国際理事だより：安井克之国際理事」、「編集室：石井博之委員長」。またこの号には、毎年指定記事として配

信されるLCIF年次報告を予定している。

主要記事のうち、4月号以降の特集企画について話し合い、委員から提案された「100周年記念コミュニティー・レガシー・プロジェクト」「LCIF」「シカゴ国際大会」「子どもの貧困」について具体案を作成し、次回以降の委員会で改めて検討する。

6. ライオン誌デジタル化

- 前回会議でデジタル化アンケートの最終案を作成し、日本ライオンズの理事会に提案、承認を得た上で実施することになっていたが、ドイツで行われた編集者会議の結果、前提として考えていたデジタル版とは異なる形となってきたため、改めてデジタル化小委員会でアンケート内容を精査し直すことにした。変更点は各委員に報告し、了解を得たものを12月2日の日本ライオンズ理事会に提案する。

7. その他

- 前回会議で、佐藤国際理事を通じて議長連絡会議から協力依頼があった、香港フォーラムでの100周年記念展示について作成物を確認した。またライオン誌日本語版委員会の予算から支出する展示物製作の費用については、香港の業者4社に見積を依頼し、最も金額が安い業者に発注することについて佐藤国際理事の了解を得た上で、担当の矢野委員の決裁を受け、香港の業者に支払ったことが報告された。
- LCIFエリア・コーディネーターから、ライオン誌日本語版委員会発行の新書『LCIF早分かり』に関して、献金会員献金の変更や新設の交付金、新しいパートナーの締結など、内容に更新が必要な箇所があるため、改訂版を作成するか、今後の販売分について更新情報を入れた一覧表を添付してほしい旨の申し入れがあった。現在、同書は1,900部程度の残部があることから、すぐに改訂版を発行することは難しいため、更新情報を作成し添付することを了承する。
- 事前資料として送付されたライオン誌サポーター・アンケートの内容を確認した。
- 日本で活動するNGOから、支援依頼の広告出稿について打診があったが、ライオンズクラブ自体の活動ともかぶるため、出稿は受け入れないこととする。
- ライオン誌日本語版の編集・発行に関わる一般社団法人日本ライオンズの業務や、ライオン誌日本語版委員会としての活動及び権限などについて、日本ライオンズの事務所長を務める近藤正彦専務理事に再度確認を行った。

閉会あいさつ 石井博之委員長

【次回以降委員会開催予定】

12月9日(金)	14:30~17:30	第5回会議	日本ライオンズ事務所
1月12日(木)	13:30~16:30	第6回会議	日本ライオンズ事務所
2月8日(水)	13:30~16:30	第7回会議	日本ライオンズ事務所

ライオン誌日本語版事務所
2016-2017 年度収支計算書

2016年9月

(収入の部)

科 目		予 算 額	当 月 執 行 額	累 計 額	残 高	摘 要
	項 目					
購 読 料 収 入		111,220,000	10,255,805	30,764,025	80,455,975	
	国際協会補助金	55,500,000	5,636,540	16,909,620	38,590,380	
	会 費	55,500,000	4,619,265	13,854,405	41,645,595	
	翻訳料補助金	220,000			220,000	
ライオン誌送料		49,000,000	4,222,637	12,667,911	36,332,089	
広 告 料 収 入		2,500,000	71,280	1,125,792	1,374,208	
そ の 他 収 入		2,550,000	158,241	1,672,668	877,332	
	頒布品収支差額	1,000,000	68,241	219,971	780,029	
	受 取 利 息	50,000		17,280	32,720	
	雑 収 入	1,500,000	90,000	1,435,417	64,583	
特 別 収 入		220,376,750			220,376,750	
	特 別 の 会 費	220,376,750			220,376,750	
合 計		385,646,750	14,707,963	45,104,604	340,542,146	

(支 出 の 部)

科 目		予 算 額	当 月 執 行 額	累 計 額	残 高	摘 要
項 目						
直 接 出 版 費		106,640,000	9,282,214	26,939,192	79,700,808	
	印 刷 費	33,600,000	2,850,654	8,493,224	25,106,776	注1
	発 送 事 務 費	13,800,000	1,169,901	3,432,841	10,367,159	注2
	ライオン誌送料	49,000,000	4,277,988	12,769,411	36,230,589	注3
	旅 費 交 通 費	5,000,000	285,225	901,278	4,098,722	
	編 集 関 係 諸 費	235,000	10,260	94,832	140,168	
	原 稿 料 ・ 編 集 費	5,000,000	686,560	1,245,580	3,754,420	
	広 告 関 係 諸 費	5,000	1,626	2,026	2,974	
	そ の 他					
委 員 会 費		6,150,000	276,240	838,143	5,311,857	
	旅 費 交 通 費	5,000,000	276,240	833,700	4,166,300	
	会 議 費					
	統 合 関 連 費	1,000,000			1,000,000	
	雑 費	150,000		4,443	145,557	
資 料 整 備 費		5,700,000	5,940,000	5,940,000	△ 240,000	注4
事 務 費		51,180,000	4,019,103	11,868,112	39,311,888	
	人 件 費	30,000,000	2,498,169	7,494,507	22,505,493	
	福 利 厚 生 費	5,700,000	379,513	781,001	4,918,999	
	旅 費 交 通 費	1,000,000	103,568	311,332	688,668	
	通 信 費	1,500,000	87,589	409,428	1,090,572	
	事 務 用 品 費	800,000	74,780	200,591	599,409	
	函 書 費					
	備 品 ・ 消 耗 品 費	50,000		4,906	45,094	
	I T 関 連 費	2,400,000	181,656	620,568	1,779,432	
	支 払 手 数 料	80,000	5,454	17,462	62,538	
	保 守 ・ 修 繕 費					
	借 室 料	8,300,000	624,056	1,872,168	6,427,832	
	水 道 光 熱 料	400,000	35,698	68,734	331,266	
	租 税 公 課	200,000			200,000	
	減 価 償 却 費	250,000			250,000	
	雑 費	500,000	28,620	87,415	412,585	
	固 定 資 産 廃 棄 損					
(収 入) - (支 出)		215,976,750			215,976,750	
繰 越 収 支 差 額 金						
当 期 収 支 差 額 金			△ 4,809,594	644,949	△ 644,949	
合 計		385,646,750	14,707,963	46,230,396	339,416,354	

注1 10月号95,500部発行。@27.64

注2 10月号発送手数料：個人発送（2010クラブ・61,103冊）710,197円
クラブ発送（1084クラブ・32,555冊）324,600円
10月号掲載誌、有料誌、PR誌送料送料及び発送手数料他、135,104円

注3 10月号送料：個人発送@62×61,103人＝3788,386円、クラブ発送（1084件）489,602円

注4 キューブ：ライオン誌バックナンバーからデジタル版用pdf書き出し及びデジタル雑誌への変換
（2016年5月10日第10回ライオン誌委員会及び5月17日第10回議長連絡会議にて承認）